

活動報告書

番 号

14

【団体の概要】

事業名： 大月の製炭学習と里山への植栽活動

団体名： 大月町備長炭生産組合

【活動の概要】

目的：製炭体験、ウバメガシの植栽、ウォーキングやドングリの収穫体験をすることにより、町内外の方に自然に親んでもらい、山林や地域産業の理解を進めるとともに、地域内外の交流を促進する。

内容：ウバメガシのお話（森林技術センター黒岩氏）、海と山のお話（黒潮実感センター神田氏）、ウォーキング、ドングリ拾い、植栽、備長炭づくり現場体験、苗木づくり

成果：今年度は町有林にて実施。町と一体となって将来を見据えた植栽活動を継続して行っていることが、関係する人たちの様々な分野での意識の向上に繋がっている。

【プログラム】

実施年月日： 令和4年11月12日（土）

場 所： 大月町内の山林、炭窯、苗床

日程	時間	内容	詳細
	10:00～	ウォーキング	山の新鮮な空気を吸いながらのウォーキング
	10:30～	ウバメガシのお話 植栽	特徴や植生等の話 苗木の植栽
	14:00～	備長炭づくり現場体験	木割り等、備長炭づくりの体験・見学
	14:30～	苗木づくり	拾ったドングリをコンテナに植える

（備考）

参加人数：大人 28名 ・ 子供（～17才） 1名 ／ 外部講師 名 ・ スタッフ 7名

募集地区： 県内 募集対象： 県内の小中高生・県民

募集方法：町内各戸へのチラシの配布、FB等での告知 参加費等： 大人1,000円、小学生以下500円

マスコミ等での紹介例（あれば）：事業終了後、高知新聞の記事となった。

感想：

＜参加者＞高校生や行政、また有識者らと一体となったイベントであり、将来を見据えた地元の産業のあり方を勉強させていただき大変貴重な体験をすることができました。

＜スタッフ＞今年度は黒潮実感センターの神田先生が一般参加してくれ、高校生を中心とした参加者に海と山は恋人という内容で話をしてくれた中での植栽活動となり、大変貴重な体験ができたことと思ってます。